

「新しいエルサレムの特徴（後半）」

黙 22 : 1～5

1. はじめに

(1) 旧約聖書の預言のハイライトは、メシア的王国である。

①黙示 20 章は、メシア的王国が千年で終わることを啓示している。

②黙示 21 章と 22 章は、千年王国の先に何があるかを啓示している。

*創世 1 章以来続いていた被造世界は過ぎ去り、新天新地が創造される。

*新しいエルサレムが天から下ってくる。

③新しいエルサレムの特徴が 11 ある。

*今回は、後半の 4 つについて学ぶ。

2. アウトライン

(3) 聖なる都エルサレムの特徴（後半）

⑧いのちの水の川（1～2 節 a）

⑨いのちの木（2 節 b）

⑩都の住民（3～4 節）

⑪夜が巡ってこない都（5 節）

3. 結論

(1) 死の意味

(2) 究極的祝福

新しいエルサレムについて学ぶ。

III. 聖なる都エルサレムの特徴（後半）

8. いのちの水の川（1～2 節 a）

Rev 22:1 御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と小羊との御座から出て、

Rev 22:2a 都の大通りの中央を流れていた。

(1) 水晶のように光るいのちの水の川

①この川は、神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れている。

②字義どおりに解釈し、実際の川が流れていると受け取ってよい。

③と同時に、この川は、新しいエルサレムにおける霊的祝福の象徴でもある。

④恐らく、「いのちの水の川」は、大河ではなく、幅の狭い川であろう。

*両岸にいのちの木がある。

⑤千年王国において現れる2つの川と混同してはならない。

*神殿の敷居の下から流れ出る川

Eze 47:1 彼は私を神殿の入口に連れ戻した。見ると、水が神殿の敷居の下から東のほうへと流れ出ていた。神殿が東に向いていたからである。その水は祭壇の南、宮の右側の下から流れていた。

*エルサレムから流れ出て、死海と地中海に分かれる湧き水

Zec 14:8 その日には、エルサレムから湧き水が流れ出て、その半分は東の海に、他の半分は西の海に流れ、夏にも冬にも、それは流れる。

(2) 神と小羊の御座

①神ご自身が、この川の源である。

②神と小羊がともに御座におられる。

*キリストの神性が証明されている。

③この御座は、千年王国における御座とは異なる。

*千年王国の御座は、神の代理人(王の王)として統治するためのもの。

④新しいエルサレムでは、キリストの統治形態が変化する。

9. いのちの木(2節b)

Rev 22:2b 川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。

(1) いのちの木

①エデンの園に、いのちの木があった。

Gen 2:9 神である【主】は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに良いすべての木を生えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木を生えさせた。

②アダムが罪を犯したとき、死が被造世界に入ってきた。

③アダムとエバは、エデンの園から追放された。

④新しいエルサレムでは、いのちの木が再登場する。

(2) いのちの木の特長

①いのちの木は、都の大通りの中央を流れるいのちの川の両岸にある。

②その木は、豊かな実を实らせる。

*毎月が収穫期で、12種類の異なった実になる。

*太陽と月の運行に依存しない新しい暦が登場するのであろう。

③この木の葉には、いやしの力がある。

*この葉が病気の治療に用いられるということではない。

*この都には、病気も死もない。

④その木の葉は諸国の民をいやした。

*「セラペイア」という名詞。英語の「セラピー」の語源。

*その葉には病気にかからないような予防的な力があるという意味。

*いのちの木があるので、そもそも新しい都エルサレムには、病人がいない。

(3) いのちの木の祝福

①食べる喜びが与えられる。

*これは、肉体の生存のための食事ではない。

②満ち足りた生活が用意されている。

*この木の葉は、満ち足りた生活を保証してくれる。

10. 都の住民(3~4節)

Rev 22:3 もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中であって、そのしもべたちは神に仕え、

Rev 22:4 神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。

(1) アダムとエバがもたらした呪いが、すべて取り去られる。

①神は、永遠に罪を裁く必要がなくなった。

②あらゆる時代の聖徒たちが、その都の住民となる。

③神と都の住民たちの間に、継続的な交わりがある。

(2) 訳語の比較

「神と小羊との御座が都の中であって、そのしもべたちは神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る」(新改訳)

「神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、御顔を仰ぎ見るのである」(口語訳)

①原文では、「神に仕え」は「彼に仕え」(単数形)である。

②神と小羊の代名詞は、単数形の「彼」である。

③さらに、「御顔」は、原文では「彼の顔」である。

④これは、三位一体の教理を証明する強力な証拠である。

Joh 10:30 わたしと父とは一つです。」

2Co 13:13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。

(3) 彼らの額には神の名がついている。

①フィラデルフィアにある教会への約束が成就した。

Rev 3:12 勝利を得る者を、わたしの神の聖所の柱としよう。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上にわたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書きしるす。

②新しいエルサレムの住民たちは、神が所有する宝の民となったのである。

③彼らは、神に仕え、神を礼拝する。

11. 夜が巡ってこない都(5節)

Rev 22:5 もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。

(1) その都には夜がない。

①罪から来たのろいであるやみを取り去られた。

②太陽や月が取り去られ、創造主である神ご自身が都の光源となる。

③贖われた者たちは、シャカイナグローリーに照らされて祝された生活を送る。

(2) 訳文の比較

「彼らは永遠に王である」(新改訳)

「彼らは世々限りなく統治するからである」(新共同訳)

「彼らは世々限りなく支配する」(口語訳)

①この都の住民は、なんらかの役割を与えられる。

②ひとつのヒントは、1コリ6:2~3にある。

1Co 6:2 あなたがたは知らないのですか。聖なる者たちが世を裁くのです。世があなたがたによって裁かれるはずなのに、あなたがたにはささいな事件すら裁く力がないのですか。

1Co 6:3 わたしたちが天使たちさえ裁く者だということを、知らないのですか。まして、日常生活にかかわる事は言うまでもありません。

③今は天使の方が人間よりも上であるが、その立場が逆転する。

(3) 11番目の特長は、1番目の特長(シャカイナグローリー)と似ている。

①再度、1番目に戻って、11の特長を学び直してもよい。

結論

1. 死の意味

(1) アダムとエバが罪を犯したとき、罪がこの世界に侵入した。

(2) 神は、彼らをエデンの園から追放された。

Gen 3:22 神である【主】は仰せられた。「見よ。人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、彼が、手を伸ばし、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きないように。」

Gen 3:23 そこで神である【主】は、人をエデンの園から追い出されたので、人は自分がそこから取り出された土を耕すようになった。

Gen 3:24 こうして、神は人を追放して、いのちの木への道を守るために、エデンの園の東に、ケルビムと輪を描いて回る炎の剣を置かれた。

①追放した理由は、彼らが永遠に生きないようにするためである。

②エデンの園の東に、ケルビムと輪を描いて回る炎の剣が置かれた。

(3) これは、神の恵みによる行為である。

①墮落した状態で、いつまでも生きるのは、実に悲惨なことである。

②神は、死を通して、地上生涯の苦しみに終止符を打って下さる。

(4) 黙示録 21 章、22 章で、楽園の回復が約束されている。

①死は、神を信じる者にとっては、その楽園に到達するための通過点である。

2. 究極的祝福

(1) 神との継続的な交わり

①旧約時代には、神を見ると死ぬとされていた（出 33 : 20～23）。

②聖なる都では、「神は彼らとともに住み、彼らはその民となる」（黙 21 : 3）。

③詩 16 : 11

Psa 16:11 あなたは私に、いのちの道を／知らせてくださいます。／あなたの御前には喜びが満ち、／あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。

④私たちは、罪から解放され、罪のない世界に住むようになる。

⑤神の御前で味わう喜びと楽しみは、今は想像できないようなものである。

(2) 黙示録 21 章、22 章に約束されていることは、必ず成就する。

①1 コリ 13 : 12

1Co 13:12 今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、その時には顔と顔を合わせて見ることとなります。今、私は一部分しか知りませんが、その時には、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知ることとなります。

②1 ヨハ 3 : 2

1Jn 3:2 愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。

③それゆえ、黙示録を学ぶことは、聖く生きるための力となる。

(3) 今の時点でも、信仰によって神の御座に近づくことができる。

①へブ4:15~16

Heb 4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

Heb 4:16 ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。